

# 令和元年度ごみ処理実績

ごみ処理費用		収入	
総額	6億1,000万円	5,500万円	
内 訳		内 訳	
収集運搬費	1億3,900万円	ごみ処理手数料	4,460万円
美化センター中間処理費	2億8,700万円	資源売却料	700万円
最終処分場最終処分費	4,500万円	再商品化拠出金等	300万円
資源化処理委託費	3,100万円	その他収入	40万円
施設改良費	1億 800万円		
ごみ1tあたりの処理費用：40,911円		市民1人あたりの処理費用：11,875円	

ごみ収集量合計 14,928 t			
内 訳			
燃えるごみ	13,278 t	資源化量 (1,232t)	
燃えないごみ	92 t	新聞	89 t
粗大ごみ	375 t	雑誌	73 t
資源	1,183 t	段ボール	36 t
<p>《市民1人が1日に出すごみの量》</p> <p>平成30年度実績値 <b>793.8g/人・日</b> (人口51,707人)</p> <p>↓</p> <p>令和元年度実績値 <b>795.3g/人・日</b> (人口51,428人)</p> <p>対前年比 1.5gの増加 (収集量：対前年比54t削減)</p>		牛乳パック	2 t
		鉄	21 t
		アルミ	13 t
		その他の金属	362 t
		乾電池	10 t
		びん類	206 t
		ペットボトル	59 t
		プラスチック製容器包装	283 t
		衣類等	63 t
		小型家電	6 t
		廃食油	5 t
		蛍光灯類	4 t

## ごみの種類組成結果(重量比)

ごみ質分析は、法令で義務付けられているためだけでなく、焼却施設の管理、ごみ処理計画、ごみ減量計画、リサイクル・資源化のためのデータ収集など、さまざまな目的のために実施されます。

右図のとおり、排出されたごみの全体の9割以上は『可燃ごみ』です。また、紙・布類だけで全体の3割以上を占めています。引き続き、再資源化の可能な古紙・衣類等の分別の徹底をお願いします。

